

(表紙)

安政六己未年從正月

御用日記

御側向頭取

萩原金兵衛

至十二月

(二ページ)

安政六己未年

元旦 快晴 節分

一益御機嫌能被遊 御超歳恐悦之事 診 仲庵 例之通拝診無之

一御目覚六時

一御湯殿へ被為入御略式若水御手水御下洗御洗足被遊候

一南御入側ニ而御仕廻被遊御座之間ニ而御召替被遊、御熨斗目御撫櫛差上之

一無程御上下御清々香御手水差上之、日の出御拝御椽側へ被為入被遊候

一御祝左之通、但御蓬萊御祝御膳之分ハ当春ハ御略式相成候事

御長蛇・御茶請大福御服紗ニ而差上ル、御菌固餅御臟煮御自□御替りニ付御吸物鯛鱒

御一汁御一菜御焼物付御膳被召上候 御酒松立御取肴御爛鍋御盃付込

一右御祝畢而稲垣治部罷出御祝義申上之、御飾ノシを被下置候

(三ページ)

一御清々香御手水差上御神前御靈前御拜御極り通り夫々御手備被遊候

一五時過金兵衛・仲庵・藤市郎。岩吉・次藏迄列座御祝義申上候、御座並ニ御ノシ宝来出置

一御庭神社御代拝、御裏役相勤申候、御上屋敷。も御代拝在之

一四時過六太夫・甚十郎罷出御祝義申上ル

一四半時過表御。切御対顔御入、御前様御神靈前御拜被遊、相濟大奥へ被為入

御同座、殿様。被進之三献之内鯛鱒御吸物御酒御祝御盃事被遊、八時

頃表へ被為入、但引統御膳ハ御略式ニ而今朝之通り

一八時過勅負罷出御礼申上、御飾長蛇御直ニ被下、御二度御下夕御焼物被下置候

御前様。 御盃一台十五 御嘉例之通被進之

御同所様へ 五色鳥子紙百枚 同断 定式達無之

紅白梅鉢植一差上之 石原甚十郎

凧 二枚張被下 熊吉 岩吉へ

一枚張 金三郎 次藏

弄ひ物一品ツ、被下 金兵衛頭取三人へ

一七半時過大奥へ被為入御同坐御膳如常

一六時前節分ニ付御豆数御長蛇御祝被遊 御豆 御年数 御長蛇 奥番御包立致

鳥目九十二銅

差上之、御総身御払被遊候を取下り御年男へ相渡ス、但此節御吸物御酒ハ被相止候、尤

御手豆被下も無之御膳番。一統へ被下取計、御福茶大奥ニて御祝ニ付表ニ而略之

一右相濟大奥へ御年取ニ鳥渡被為入、表同様ニ矢張御弘等在之由、一統節分御祝義申上在之由、御手豆被下ハ無之由、御帰座後表御へ切被仰出候、此節甚十郎又兵衛被為召御酒等被下候由、左之通思召物被進被下候、

御前様へ 縞ちりめん一反 緋ちりめん御服紗一 縫花丸一円

同断

御中らうひなへ

(四ページ)

一今朝金兵衛義熨斗目上下着鎔落出勤、御側向替り合四時服紗上下着節分且

於御前御酒被下之御沙汰在之二付御引迄上下着、右次第無之候得ハ御明り付

〆平服之筈、明日〆平服、金兵衛義服紗上下着三日迄、四日〆平服

一表御寝、四時三寸廻り引

正月二日 雪気

一御目覚六半時

診 適齊 御礼出勤ニ付宗甫

一五時過御神靈前御拜、御手備昨朝之通被遊、御ノシメニ付御髪斗、上下着

一今日御吉例之通殿様へ年頭御礼申上之義、当御屋敷一統罷出ニ付御手元

甚御人少御不備ニ付金兵衛始両番之分ハ夫々へ申達御用引相成御附衆も同様

御医師当番老人斗罷残、亥之助義長袴始而之御礼ニ付昨夜〆御用捨相成

今日出勤被仰付候事、罷帰候上一寸御礼罷出ル

一九時過表御へ切御対面、御入直ニ大奥へ被為入御同座御膳被召上候

一松井左膳御祝義ニ罷出ル、甚十郎も罷出候

一八時過御略式ニて御読初大学席并三綱領八條目、引続御書初老子語生成

万物運用不休、外ニ御詩作御認在之候、但此節頭取老人上下着

一為御祝儀罷出面々敬左衛門・三十郎・平兵衛・辰蔵・清十郎御茶被下於御小姓へや御酒裂

するめ頂戴被仰付候 一御初湯被為召候

一七半時過大奥へ被為入御膳被召上候、六半時過〆御へ切相成候

一表御へ切御寝、御夜詰四時過引

正月三日 晴

一御目覚六半時

六時過表ニ相成

診 宗甫

一五時過両御拜、御手備昨朝之通在之

(五ページ)

一四時前狛山城方鞞負近江左司馬被罷出御祝義申上之、於御前屠蘇裂鯛

被下置山城方へハ別段御教盃共頂戴、御飾長蛇御直ニ被下弄ひ馬一次男へ被下候

面々へも御酌被成下鯛御直ニ被下置候、御書初拜見子共書物等為御見被遊候、無程

退去、山城方へハ御茶御菓子菓盆等被下置候、引続甚十郎・孫左衛門・七右衛門・所左衛門

三左衛門罷出御祝儀申上御酒鯛被下置御酌并鯛等被下置御書初御示等

拜見被仰付寛々御嘶等申上候、此節信良・万順・元珉罷出御祝義申上御次ニ而

御酒鯛被下置候、

一九時過表御へ切相成直ニ大奥へ被為入御膳被召上候、御出迎斗両番揃金兵衛ハノシメ着

一殿様為御年首九時御供揃ニ而八時前被為入御控所へ御着座 三幅対御花

兩種 硯 御手鑑等飾之 此所ニ而金兵衛初兩番罷出岩吉迄御祝義申上之、引続左膳
御刀懸 御褥ちりめん

宗甫同断、無程春岳様表へ被為入候処ニて御座ノ間へ被為入御対顔之上
御祝儀被仰上畢而御長蛇御多葉粉盆御手焙御茶差上之、此所ニて御供御先番
其外共罷出御祝義申上之、大奥御都合宜段申出御同道ニて大奥へ被為入

御三所様御同座御吸物たいひれ差出御盃事被遊、相濟表へ御帰座、御雑煮
屠蘇差上之、引続御吸物小たい・御小皿朝日蒲鋒 御酒數盃被召上候、畢而御側向一統

小串 たい みかん

被為召古今哥留多一遍在之、復御酒差上之、相濟引て御干菓子・枝柿盛合ニ而
御茶差上之、無程御帰殿、七時過大奥の唐万寿・御酢被進之 御雑煮・御吸物御代り付

大奥へも被進之

武辺咄聞書三冊 御書終日乾々半切一枚被進之

殿様江 御愛相物一台 御盃三ツ 養入五 袂落三

半切五 扇七本

中将様江 白紙廿五枚 御書初東風翁凍時半切一枚被進候

右者当春の御極りニ相成御年玉御取替七御座候事

一七半時過大奥ニ而御膳被召上候、御帰坐後六半時前表御へ切相成申候

(六ページ)

一御供御先番十兵衛初其外両へや非番之面々等罷出候節御酒鯛部屋ニて被下置候

殿様の 窓の月十五ツ、被下置之 熊吉 岩吉

金三郎 次藏

一左膳義御出迎ハ金兵衛部屋前ニ罷出居候事、但藤一郎始ハ御敷台上ニ列座、御玄冠狭ニ付

一今日御入ニ付九時の上下着、金兵衛ハノシメ着

一表御寝御夜話四半時過引

正月四日 陰 金兵衛今日の平服

一御目覚六半時 診 仲庵

一御神仏御拜五半時前御平常之通

一今晚飛脚出立常振、継共之事

一九時過御へ切御対願御入、夫の 大奥ニ而御膳如例

一八時過為御祝儀一順罷出被為召御酒御菓子等御扇子一本被下置之候

銀百匁 御国札 御小道具方小遣 喜兵衛

右者昨年不斗拾候ニ付年来小遣相勤候、又々旧冬御附小遣申付格別難有狩

御厚恩を存詰差上度旨申出奇特之訳合ニ付御受納相成候事

一今日之御湯御流相成 一甚十郎鳥渡伺ニ罷出候

一七半時過大奥ニ而御膳如例 一金兵衛相願退出致候事

一表御へ切御寝、御夜話引四時過

正月五日 晴

一御目覚六半時 六時表ニ相成 診 適斎

- 一五半時前兩御拜被遊候
- 一四時前為御祝儀五郎左衛門罷出候、御酒・寿留女当へや二而頂戴被仰付
- 一九時過表御へ切御対顔御入、夫の、大奥二而御膳被召上候、八時前、御へ切

(七ページ)

- 大奥二而御庭廻り被遊候
- 一八半時過、靱負罷出寛々御嘶申上候
- 一鑑落前大奥二而御膳如例、五半時過表御へ切相成候
- 一表御寝、御夜詰四半時過引
- 正月六日 陰 八時過、雨
- 一御目覚六半時 診 宗甫
- 一五半時前兩御拜被遊候、御座之間御掃除被遊候

御く被為成候上へ

- 一当分御平常御召之義へ御国産奉書紬黒花葵当地太織縞取交差上候事二
- 伺之上御極り二相成候事、但黒木綿へハ却而御益二も相成候故旁也、御寝間も本文之品をくり下ケ差上候筈、尤奥番相心得候事
- 一九時過表御へ切御対顔御入、直二大奥御膳被召上候
- 一為伺御機嫌御上屋敷へ金兵衛初、五郎大夫。岩吉迄罷出、於御前御酒賜頂戴被仰付、但御流レ頂戴之節何茂不罷出旁被下置之

御数盃一御扇子二被下置候 金兵衛へ年内被下置敷

- 一今夕齊土器入切貫落二載セ差出、御長鮑共御爪被為取候
- 一靱負罷出寛々御嘶被申上 一御年越御福茶差上之、上下着
- 一七半時過大奥御膳被召上候
- 一五時前表御へ切甚十郎・五郎兵衛被為召仲庵罷出御酒肴被下之
- 一表御へ切御寝、御夜詰四半時過引

正月七日 快霄

金兵衛御目覚のシメ上下

診 仲庵

- 一御目覚六半時、六時過表二相成
- 一數御長鮑七種御雜水御附替并御代り付、御祝引続御膳被召上候、御膳番御給仕共上下
- 一兩御拜御極り御手備被遊候、御ノシメ上下、御間内御掃除如例

(八ページ)

- 御二所様へ 保命酒一ツ、塩鮎十五ツ、
- 伊予守様へ 本直酒一
- 中将様へ 御愛相物一台 半切三 御袂落一 蓆入四
- 清心院様へ
- 中将様へ
- 清心院様へ
- 中將様へ
- 清心院様江 縞ちりめん一反 極思召もの也
- 右者今日花井為御祝義参上之節不相変被進之、八半時過御へ切相成其節
- 御直二御反物へ被進相成申候
- 御式所様江 交御肴一籠 大たい一 明夕召上り

殿様。
右ハ御入之折から被進之
中將様へ 六寸御重入そばこ一 あられ酒小瓶一
石かれニ ふくらけニ 内一御料り方兩人へ御膳番の被下

一殿様六時御供揃ニ而御登城被遊、御退出懸御初而ニ付大老并御老中方御廻勤
夫の直ニ九時過被為入御控所へ一先御着坐、夫の御座之間へ御通被遊御祝義被
仰上、無程御一所ニ大奥へ被為入御対願被遊候、暫有て御同道御帰座、御蒸菓子
差上之、御供御先番之面々御目見被仰付候、相濟八時前御帰殿被遊候、大奥の御干
くハし被進候

一鞞負義も罷出御嘶申上候
一今日伺御機嫌御上屋敷へ孫大夫・藤市郎初、熊吉迄罷出、昨日之通御酒鯛被下之
一七半時過大奥ニ而御膳被召上候、五時前表御締切相成候
御前様の 御広蓋一面 シ、牡丹 銅彩色茶碗五 三重組蓋物角御干菓子入
毛植狗小鼠ニ 玩物小箱ニ 急須一 弄び大鉢一
肥後杉原紙一束

右者思召物ニ而切中ニ被進之

一五時過御切中へ左膳金兵衛始当番之面々被為召、御三ノ間ニ而御酒、鱒こぶ清し且雜煮
被下之、哥島仲の養寿御錠口罷出居取計ノ事
一表御寝、御夜話四半時過引

(九ページ)

正月八日 陰

一御目覚六半時 診 適芥

一五半時前御神靈御拝被遊、夫の御間内御掃除被遊候

御愛相物老台 品々 御年玉上り 哥島
多川

清心院様へ 御数盃十一 老台 六寸御重ニ御菓子御煮、常邸取計也
右者明日老女御祝義參上ニ付為御年玉例之通被進之、定式達無之

一九時過表御切御対顔御入、夫の大奥ニて御膳如例

一八時前、柳生流一篇御居合一遍御遣初被遊、御打大刀孫大夫・金兵衛差上之

一八半時前、表御切、大奥ニ而御庭御尙伴被遊候

一伺御機嫌十三郎・平兵衛・清十郎・元珉罷出御切中ニ而御逢無之

一窺御機嫌一順罷出、被為召御逢御詩作御直等持參御閑話申上候

一今日鞞負等罷出候 一七半時過大奥へ被為入御膳被召上候、金兵衛相願退出致候

一表御寝、御夜話引四半時過

正月九日 晴光又暖和

一御目覚六半時 診 宗甫

一五半時前両御拝被遊、例之通り御掃除被遊候

一九時過御締切御対顔御入、夫の大奥ニ而御膳如例

一八時過大奥ニ而御庭御閑歩被遊候、今日ハ被相止候

一八半時過鞞負罷出候、甚十郎も罷出緩々御嘶申上候

- 一七時過例日御湯被為召候
- 一七半時過大奥ニて御膳被召上候
- 一六半時過〇表御〆切相成四時過表ニ相成候

(十ページ)

- 一表御寝、御夜詰四時過引
- 正月十日 陰天
- 診 仲庵
- 一御目覚六半時
- 一五半時前両御拜被遊、夫〇御掃除被遊候
- 一旧冬藤一郎・孫大夫罷越相頼置候、元日御祈祷御札守今日五郎大夫・源之丞御馬拜借
- 大師河原へ罷越致持參候事
- 干海苔二帖 五郎大夫
- 梨子 三ツ 差上之 源之丞
- 亀甲煎餅一箱差上之旧臘記落 藤一郎
- 孫大夫

一九時過御締切御対顔御入、夫〇直ニ大奥ニ而御膳被召上候

 亀甲煎餅・卷煎餅・有平入一箱ツ、差上ル 甚十郎・孫左衛門
 七右衛門・所左衛門・三左衛門

- 一御上屋敷へ伺御機嫌罷出候、金兵衛・犀次郎・亥之助
- 一七時過〇靱負罷出御嘶申上候 一八時過暫御締切相成候
- 一七半時過大奥へ被為入御膳被召上候、五時前〇御〆切相成候
- 一表御寝、御夜詰四半時過引

 正月十一日 晴光

- 一御目覚六半時 診 適斉 昨夜〇宗甫
- 一五半時前両御拜被遊、夫〇御間内御掃除如例
- 一今日御嘉例之通知上屋敷ニ而御具足餅諸士一統頂戴被仰付候
- 但金兵衛始御側向両番御用引出出勤不致候事

一 金百疋御年玉定式差上之 青松院殿〇

右者旧臘御留守居共〇懸合も在之先方御用人〇も申来候義も在之先方老女〇此老女へも懸合在之御附取計、御小人等盆暮被下物も相送り大奥〇之被下品も

(十一ページ)

- 相廻シ其上青松院殿定例御贈之盆暮廿五両ツ、一所ニ殿様〇御送り之趣
- ニ而大奥〇相廻ル、前文之趣故殿様へ之御仕向ニ而右御目六相廻、十兵衛〇此方へ相廻り候故差上候事、御金懸りへ相渡ス
- 一九時過御〆切御対顔御入、大奥ニ而御膳如例、数御長蛇御汁粉差上之
- 一八時〇御〆切、大奥ニ而御庭御閑歩被遊候 一御次飾御具足餅被下候 御附衆〇一統手伝
- 台子迄
- 一七半時過大奥へ被為入御膳如例 一御二度御膳前御〆切御都合ニ付今日〇被相止候
- 一今晚御有合御愛相品并御年寄此頃差止候品々外ニ龜末之御品壹両斗御買上

致御二所様御慰勞御福引御鬮頂戴有之左之通

但治部御附兩人・甚十郎・金兵衛・御医師三人御側向不殘岩吉・熊吉・次藏

金三郎 思召ニ而 連兵衛・奥坊主四人奥番心得ニ而内之不寢役兩人

哥しま

御錠口三人 ひなへも被下置之、外ニ養寿・楽寿・□寿

一 鑑落前小石川御先町伝通院近所出火、折柄北風強御上屋敷風下夕ニ相見へ不取敢

非番。大谷孫大夫乘馬ニ而御見廻として被遣候所先大火ニ相成追々鎮火之趣ニ付引取

申候、六半時頃夫。前記御鬮御支度ニ取懸り申候、御座之間御着座、御前様北御入

側御障子屏風圍ニ而御透見被遊候、御座之間御闕之内へ御鬮御小広蓋へ入差出

置、治部。席順ニ頂戴之、御品物を持出品数申上入御覽、金三郎・次藏迄載、畢而御

三ノ間境へ御障子屏風建之御透見被遊手伝兵衛。台子四人頂戴之 御品物ハ御

三ノ間へ並ル

右頂戴相濟表御締切相成、大奥之分頂戴在之候

小鯛 老尾

松井左膳

右者旧冬館六市結構被仰付候、聊為身祝差上之 御三度召上り

一大奥御寢御入、御夜詰四半時前引

一去ル三日立飛脚道中常振到着、御静穩恐悦候事、旧臘廿八日出立無之候

(十二ページ)

正月十二日 晴光 凍寒

診 宗甫

一 御目覚六半時表被為入

一 五半時前兩御拜被遊、夫。御間内御掃除如例

一 九時過大奥へ被為入、御同座御膳如例

一 八半時過敬左衛門へ旧冬被仰付候認物持参罷出ニ付被為召、御菓子御茶被下之

一 七時過高田孫左衛門罷出御用状入御覽候

細川越中守様。紅梅鉢植一 交御肴一籠 たい一 石かれ五召上り

右者御前様。之御伝へを以被進之 但蛇一ツツ、靱負・孫左衛門海老二も魚三御膳番

当番へ被下候

一 鑑落前大奥ニ而御同座御膳被召上候

一 七半時過靱負近江罷出被為召、靱負ハ六半時過相下り申候、表御へ切相成候

一 昨十一日御嘉例之御福引御鬮頂戴之御式於御上屋敷当春ハ在之候処

此御側向へハ行渡り不申旨御用人。通達も在之候所存外ニ御品数も出来十兵衛始

之心配ニ而御側向金兵衛始金三郎・次藏迄御鬮被下候ニ付御品物相廻申候、金兵衛

十兵衛代鬮之儘致頂戴候、藤市郎始一統ハ御鬮仕直し頂戴仕候

一 御締切御寢、御夜詰四半時過引 一金兵衛相願退去致候

正月十三日 晴光

診 仲庵

一 御目覚六半時 六時過表相成

一 五半時前兩御拜被遊、御間内御掃除被遊候

一 為伺御機嫌十兵衛罷出御逢被遊、御茶菓等被下候

一九時過大奥ニ而御同座御膳如例

御二書様へ

蓮性院様。青目籠交肴野菜詰少々 尺二尺五寸斗

右者折からの御機嫌被為聞被進之 但 殿様。青松院殿へ被遣ニ相成

(十三ページ)

一九半時過表御へ切相成、御庭御閑歩被遊候

保命酒一瓶被下之御挨拶旁 高田孫左衛門へ

一八時過為伺御機嫌罷出被為召薄皮餅御茶被下之、長作喜三太・兵藏・三郎左衛門

金太郎・石五郎・小六 左司馬・一順・万順も罷出右同断

一杉浦幸右衛門義為伺御機嫌罷出ニ付久々ニ而御目見被仰付、御茶御菓子於

御前被下置候、御間内御神前等拜見被仰付候

一七半時過大奥へ被為入御膳如例 一六時過鞞負罷出暫御嘶申上候

一六半時過表御へ切相成候、四半時表ニ相成候

砂糖漬一箱・茶小箱十五

右者六大夫。差出入御覽、何方。之差上物敷頭ハニ不申上候事

一表御寝、御夜詰四半時過引

正月十四日 晴 陰雨

一御目覚六半時

診 適齊

一五半時過而御拜被遊、夫。御間内御掃除例之通り

一九時過大奥へ被為入御膳被召上候

一八時過五郎左衛門・河合大郎太夫・高田孫左衛門 ■■■ニ伺御機嫌罷出、被為召御逢

被遊御大字拜見被仰付、御茶菓被下置之候、御留守居両人も罷出御逢無之候

一七時過御定日御湯被為召候

一七半時前狛山城方被罷出御逢在之、御蓑盆差出御茶菓被下之

阿部伊予守様。御国産細肴干物百

右者御機嫌被為聞召上リニもと被進之、与一兵衛。甚十郎迄手紙添相廻ル

一鎔落前大奥ニ而御膳被召上候

(十四ページ)

一御年越ニ付御膳前表 (ニ脱力) 而御福茶差上之、但御膳番并御給仕上下着

一大奥御寝ニ被為入、御夜詰四時過引

正月十五日 陰天 殿様御入ニ付四時。一統上下平月ハ一統肩衣金兵衛上下

一御目覚六半時表へ被為入

診 宗甫

一朝御膳前小豆粥御祝被遊、尤数御長匏差出ス、引続御膳如例、御膳番并御給仕上下

一五半時過而御拜被遊、御間内御掃除如例、御手備常某日之通り

一九時前殿様御登城、御退出懸為御対願被為入、直ニ御座之間江

御通り被遊候、其内御供之面々御控所御椽へ相通其段治部。申上之、御控所

ニ而御清々御嗽御手水等差上之、御内庭通り五番口。御庭内神社末社

共御拜被遊候、中君大奥ニ而御膳被召上候、御留主中右御椽頼上ノ方御極

○御上り被遊候、御着坐之上御機嫌伺列坐申上ル、金兵衛初一統熊吉迄、尤両番
 仲庵・適斎・宗甫も伺御機嫌罷出此段申上之、此所ニ而御小弁当被召上候、御汁
 切みたい干細魚御菜漬御小皿もり二被進、御二度御廻り御汁御皿物も被進、此所江
 大奥○御帛座、御程合ニ而大奥へ被為入御対面被遊、御帛座之上砂糖漬被進
 大奥○もころ柿被進之、御先番御供之面々十兵衛初何茂被為召御機嫌
 相伺御茶菓子被下置候、暫有て御供揃被仰出無程御退散相成、八時過
 御二所様へ 御籠入せんべい 飴玉 おこし 奥表半分ツ、
 殿様○ 両番へ被下相成
 右者御側為御慰被進之、御席上ニ而御到来之御茶小箱五ツ被進之
 一八時過表御締切ニ而御庭御閑歩在之候
 一七半時過大奥ニ而御同座御膳被召上候
 一六時過鞆負罷出御嘶申上候、五時過○御へ切相成、仲庵被為召候
 一表御へ切御寝、御夜詰四時過引、但御へ切相止

(十五ページ)

正月十六日 陰

一御目覚六半時 診 仲庵

一五半時過御神靈前御拝被遊候、例之通り御掃除被遊候

一甚十郎罷出暫御嘶申上候

一九時過大奥へ被為入御膳如例

一八半時過鞆負罷出寛々御嘶申上候

一七半時過大奥へ被為入御同座御膳被召上候

一金兵衛義相願退出仕候、六時前

一御帛座後五絶詩哥留多被遊、一統罷出御相手仕御前様御入側へ被為入

御見物被遊候

一大奥御寝被為入、御夜詰九時頃引、表御寝也

正月十七日 晴光

一御目覚六半時表へ被為入 診 適斎

一五半時前御神靈前御拝被遊、夫○御間内御掃除被遊候

一九時過大奥ニ而御膳被召上候

一九半時過表御へ切相成御庭御尙佯被遊候

一於御上屋敷例年之通大般若御祈禱御執行在之二付御召相廻ル

一七時前甚十郎鞆負罷出御嘶申上候

一七半時過大奥ニ而御同座御膳如例

御式所様へ 沖津鯛干物五

殿様○

右者御到来被遊ニ付被進御移リニ干細魚三拾被進之

一六半時過○詩牌被為取候、五半時過○御へ切相成候

(十六ページ)

一大奥御寝御入、御夜詰四半時過引

正月十八日 晴 風寒

診 宗甫

一 御目覚六半時表へ被為入
一 五半時過兩御拜被遊、夫の御掃除被遊候

一 御膳前小豆粥御祝在之、引統御膳被召上候、御給仕平服也

一 九時過御奥へ被為入御同座御膳被召上候 一元珉伺罷出御逢在之、御菓子被下候

一 為伺御機嫌罷出面々十兵衛・敬左衛門・三十郎・十三郎・剛右衛門・平兵衛・辰蔵・清十郎

治右衛門被為召御菓子御茶被下置之、折節甚十郎も罷出候

一 七半時前大奥ニ而御膳被召上候 一 韌負も罷出御嘶申上候

一 五時前御締切相成候、部や頂戴ニて一統へ御酒玉子豆ふ被下置候

一 表御寝、御夜詰四半時過引

正月十九日 晴寒

診 仲庵

一 御目覚六半時
一 五半時過兩御拜被遊、夫の御間内御掃除被遊候

生魚 ほら一本 丘持入

右者先日仲の大名小路へ年頭参上之節先年御池之ほら被進候所格別御

賞美被為在候ニ付当御時節ニハ候へ共相成義候へハ御獵被進候而ハ如何との養寿

談事ニ付思召奉伺候而誠精得物御内々御側向ニて心配致見候得共取レ不申候

然ル処又々昨日心配致見候所幸ニ一本得物在之ニ付被進可然旨多川へ懸谷

候所則先日仲野委細之訳合御先様ニて御嘶申上候所御時節ニ付御堅く御断

追而時節来候節御賞被成度厚キ御配意之所ハ忝思召候へ共何分当節ハ

絶而御断被仰上度御旨之由多川申聞、如何ニも御厚キ御尤様之御義故

(十七ページ)

被進ハ相止稱丹精之得物故御放し相成候も余不本意ニ付御慰旁ニ

殿様へ大奥廻り長棹入ニ而目立ず様ニ致被進相成候事

一九時過大奥ニ而御膳被召上候

一九半時揃御初灸治被遊候、御締切相成御匙医両人適齊父子万順罷出元珉

当番信良御用赦相願下罷出候、七半時前相濟共御相伴ニ而七半時過表相成

益御機嫌克御感御宜被為在旨当番御医師申達其段奉申上候

御前様、石鱧五枚召上り 鉢盛切すし 奥表半分ツ、

酉様、御籠入 煎餅 最中 まんじう 同

清心院様、右同断 同

右者御初灸ニ付御上り且御側御慰として被進之 但御附金兵衛初一同被下候

すし手伝初へも少々被下候

一 御二三所様へ 水うハ玉 御熬菓子六寸一重 せんべい多月御医師共被下之

ねりかん

御扇子ニ たが袖 御手目被下之 御匙医二人 三品

御猪口一 御いしや五人 二品

一 七半時過大奥へ被為入御膳被召上候

細川越中守様。 干海老一曲
同 益姫様。 塩鮑一曲

右者年首之御簾ニ而御品計被進、御時節故熊与老女ハ不被遣候由
一五時前〇表御ノ切相成申候

一大奥御寝御入、御夜詰引四半時

正月廿日 凍寒

一御目覺六半時表へ被為入 診 適齊

一御好ニ而小豆粥ニ被召上、御膳一盛被召上候

一五半時過兩御拜被遊、夫〇御間内御掃除被遊候

(十八ページ)

一九時過大奥へ被為入御膳如例

カステイラ一箱 石鰯一枚 御直書一封 思召もの

鉢盛 切すし 此分御上屋敷ニて被進取計在之

右者殿様御初灸ニ付思召ニて被進、御ニ所様〇御側為御慰被進之

当秋迄話延(越) 被仰付 川村藤市郎

来申春迄話延(越) 被仰付 小栗五郎大夫

同 山野十太夫

同 上坂平八郎

右之通月番御用人前日呼出之手紙来今朝申渡在之、昨秋ハ御前御礼

書上候得共御礼在之方可然談事ニて今日ハ金兵衛差加御礼申上候事、肩衣用

来春迄話延(越) 被仰付 三寺剛右衛門

同 吉田石五郎

当秋迄話延被仰付 今村重太郎

来春迄話延被仰付 加藤清十郎

同 小栗秋之丞

同 土屋小六

右ニ付剛右衛門・清十郎・治右衛門ハ非番故御礼罷出ル、御逢無之候

御内々伺御機嫌罷出候 浅見七郎右衛門

同断 皆川平右衛門

右者当春横浜へ到着 出府致候ニ付罷出、平右衛門ハ十二日也

一御上屋敷へ伺御機嫌罷出御灸治中故御前ニ而御茶御菓子被下置之候

金兵衛・源之丞・犀次郎・亥之助、今朝呼出候面々ハ不罷出候事

一八半時過〇靱負罷出御咄申上候 一昨日御延之御湯被為召候

一七半時過大奥ニて御膳如例、金兵衛相願退出致候事

畳みいわし 左内へ被下之 金兵衛持参

御庭梅花

一六時過〇御ノ切相成申候

一表御寝、御夜詰四半時引

(十九ページ)

正月廿一日 朝天、風雪

一 御目覚六半時

診 宗甫

一 五半時過兩御拜被遊、夫、御間内御掃除被遊候

一 九時過大奥へ被為入御膳被召上候

一 岩吉義祖母病死二付去ル十四日、忌引込罷在候所御差支ニも相成二付今日、

忌御免出勤仕候、藤一郎差加御礼申上ル、昨夕治郎、通達在之候

一 近年御発駕前兩御屋敷字問所惣宰、申達在之候上書生輩へ御手元

〇 万寿被下且別段出精之族へハ御扇子式御風呂敷等被下在之所昨年者

御滞府其後種々差潰候御時節二付右被下無之、然ル所松田東吉郎

内達在之当春栄塾初之節御菓子被下相成候ハ、格別一統勸之品ニも

可相成二付内達二付御表、今日被下二相成申候、右二付御目付出席之筈之処折

節飛脚出立御用多二付難罷出且十兵衛も同様之義ニ而無拠依頼、其段奉

申上ニ而金兵衛義八時過、出席致候、上下着、東吉郎白鹿洞掲示二節相講ス

聴聞畢而聖像東吉郎・金兵衛、一統拜礼、神酒・鯛戴之、此節金兵衛披露

一 統出精二付殿様、御菓子被下置、不相変出精致候様申述ル、夫、一統頂戴

相済退去候事

一 今晚道中常振飛脚出立之事、但靱負不罷出事

一 七半時過表御、切御同座御蕎麦被召上候、引統大奥ニて御膳如例

一 六半時前、御、切相成申候、六大夫・金兵衛始一統へ今日ハ寒も強候二付御酒御肴等

被下置之 玉子 御吸物 あさ漬

たゞみいわし

御前様、きりさんしょう 昨日今日御側向一統へ被下置候

御にうめん

一 大奥御寝御入、四時過御夜詰引

(二十)

正月廿二日 晴

一 御目覚六半時表へ被為入

診 仲庵

一 五半時前御神靈前御拜被遊、夫、御間内御掃除被遊候

一 九時過大奥へ被為入御膳如例 一 御前様御初灸治二付鉢盛切寿し被進之

一 九半時過暫御、切相成大奥ニ而御庭廻り在之候

為伺御機嫌罷出候

植原次郎右衛門

河合太郎大夫

右者旧冬御引移後御目見不被仰付候事故御側向ニ準し候御役前二付

思召を以被為召御逢被遊、御間内御庭等拝見被仰付御茶御菓子被下之候

一 七時前、靱負罷出緩々御嘶申上候

一 七半時過大奥ニ而御膳如例、五時過御締切相成

正月廿三日 晴光

一 御目覚六半時 六時過表二相成

診 適斎

- 一五半時過御神靈前御拜、御間内御掃除如例
- 一九時過大奥ニ而御膳如例
- 一八時頃為伺御機嫌罷出被為召焼芋・御茶被下、十兵衛・一順・元珉・長作・喜三太
兵藏・三郎左衛門・重太郎・石五郎・小六
喜撰 小箱一ツ 浅見七郎右衛門
- 右者横浜御陣屋へ早春到着、年来御側勤仕候輩故極御内々十兵衛の相伝へ
思召を以被下置之
- 一七半時過大奥ニ而御膳被為召候、五時過の御締切相成
- 一表御寝、御夜詰四半時引